

あわくらトイプロジェクト 6年 9月15日 (木)

西粟倉村の木材でおもちゃをつくるプロジェクトのスタートです。現中学2年生が6年生の時にスタートし、3年目になります。西粟倉の木材を使い、ものづくりの「企画」を6年で、「設計・試作」から完成までを中学校の技術の授業で行います。木薫の國里さん、舟橋さん、役場と教育委員会のご協力での実現です。



「だれのために作るのか」子どもたちのこれまでの経験と大きく違う点です。年齢の小さな子どもたちに喜んで遊んでほしい。そのために、「みんなで考えて 自分たちで作る」國里さんからは、相手意識をもって、「本気で考えること」「一生懸命やってみること」が大切だと伝えられました。本気で作ったものを、小さな子が本気で遊んでくれたら、むちゃくちゃうれしいよ」と。そのために、たくさん想定して考える。意見を出し合う。グループでのつながりが必要です。



2年前の6年生が企画したおもちゃを触ってみました。左の写真の車は6年生も乗れました。「この車は200kgまで耐えられるよ」子どもたちは驚きます。「初めて使うおもちゃに怖くて乗れない子がいたとして、お母さんが乗ってみせることで安心して乗れるようになるかも。だから頑丈に作ったんだよ」



ものづくりから学ぶ。教科で学んだことも使います。村の自然と人から学び、良質な体験を積んでいく。その中で、育みたいのは、「自信 チャレンジ つながり」の力です。